



愛知の「働き方改革」取組事例

株式会社アーツネットワーク

所在地：愛知県名古屋市西区

業種：情報通信業

社員数：男性4名 女性4名（R1. 6月現在）



トップメッセージ・取組の目的

在宅勤務者の自宅と事務所をVPNで結び、サーバやビジネスフォンを社内にいるのと変わりなく利用できる環境にしました。現在、全8名のうち3名が在宅勤務をしています。小企業ではありますが、社員一人ひとりの働き方に合わせたシステムを用意することで、よりよい労働環境の実現を模索し続けています。

取組の概要

○ 働き方改革を支える理念

- 「少子高齢化社会に対応したワーク・ライフ・バランス実現のためのIT技術・サービスに挑戦する」という経営方針であり、多様な働き方を実現しようという思いをベースに働き方改革を進めてきた。

○ IT技術を活かした「在宅勤務」

- 「在宅勤務」導入のきっかけ（1）

家族の都合で、女性社員の一人が東京に引っ越すことになったが、退職しなくてもすむように、デザイン等の自宅でも可能な仕事を中心に在宅勤務を開始した。

- 「在宅勤務」導入のきっかけ（2）

エンジニアリーダーの男性社員から、保育園のお迎えも含めて育児のために、毎日ではないが15時で退社できる勤務体制の希望があった（通勤時間は、片道約1時間30分）。



リーダーに15時退社されると、確実に会社の業務は回らなくなる。ただ、この希望が叶わないと、社員も家庭で困ることになる。そして、万が一退職となると、会社にとって大きな損失になる。



この点、在宅勤務であれば往復3時間の通勤時間が不要となり、保育園のお迎えも含めて、十分な時間を育児に充てることができると同時に、仕事も継続可能となるため、週2回の在宅勤務を開始した。

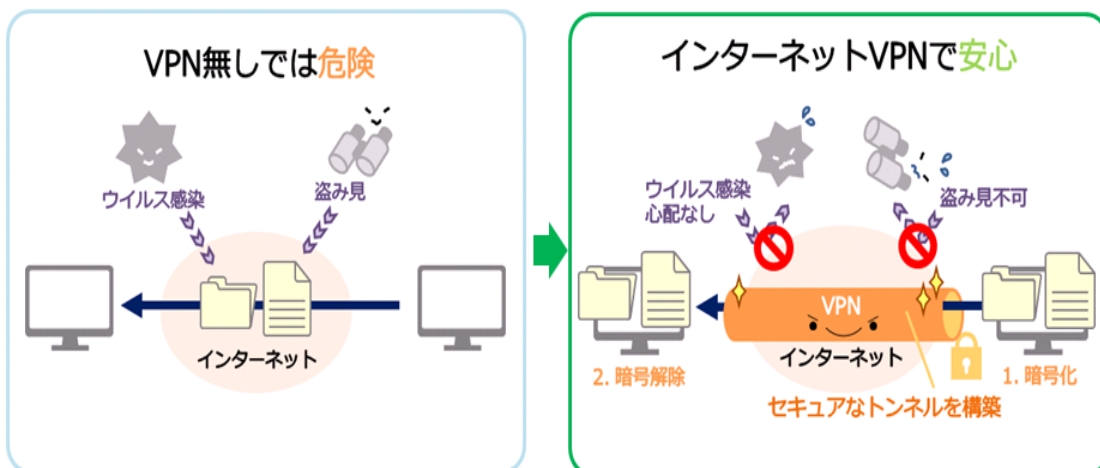
取組の概要

- 具体的な取組内容

- ① VPN（バーチャル・プライベート・ネットワーク）を利用した在宅勤務

インターネットを使用し、会社・自宅間で通信ができるようにした。通信にはVPNの技術を用いて、インターネット上に情報用の仮想トンネルを構築し、あたかも会社・自宅間が専用回線で繋がっているようにすることで、ウィルス感染や情報流出の防止を図った。同時に情報自体も暗号化しセキュリティの程度を高めている。

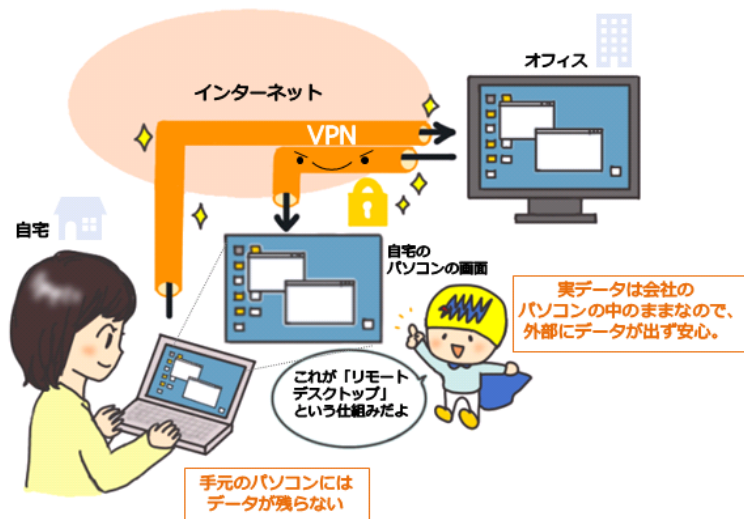
- ① VPNを利用した在宅勤務



- ② リモートデスクトップ

リモートデスクトップ（外から会社のパソコンをリモート操作する技術）の利用により、自宅パソコンのディスプレイに表示されている情報データそのものは、会社パソコンの中にあるため、外部にデータが流出できない仕組みでセキュリティを確保している。

- ②リモートデスクトップ (外から会社のパソコンをリモート操作する技術)



③ ビジネスフォン+VPN

会社にかかってきた顧客からの電話を在宅勤務者へ取り次ぎ、折り返し連絡を行うことで発生する時間的ロスを防ぎ、顧客に迷惑をかけないようにするため、会社・自宅間が内線で通話できるビジネスフォンを導入し、在宅勤務者がまるで会社において顧客とやり取りできるような仕組みを作った。

④ ビデオ会議システム

会社には大きなディスプレイを用意して、常時在宅勤務者の姿を映すとともに、180度カメラの利用により、自宅では会社内にいる全メンバーの顔が見えるようにすることで、お互いに同じ場所で仕事をしているような仕組みを作った。

現状とこれまでの取組の効果

- 当初、会社・在宅間のやり取りは電話で行っており、相手の繁忙の程度が事前にはわからなかったため、話しかけるタイミングに神経を使いお互いにストレスがたまっていた。このため、ビデオ会議を常時接続してお互いの仕事の状況が一目でわかるようにすることで、タイミングを見て相手の手が空いている時に内線をかけられるようになった。
- 大きなディスプレイと180度カメラを用意することで、在宅勤務者と会社内にいるメンバーがお互いに顔が見えない等、それまでビデオ会議で発生していた不都合を解消することができた。
- 大企業のような全社一律の制度ではなく、家庭環境が異なる社員一人ひとりに合わせた中小企業ならではの在宅勤務の制度となっている。